

前年度の事故・災害実績・反省	安全目標	目標を達成するための具体的施策
<p>1. 2022年度 自動車事故報告規則第2条に規定する事故</p> <p>年度目標 0件</p> <p>・自動車事故報告書届出実績 1件</p> <p>自動車事故報告規則第2条9項に該当運転者の疾病により、事業用自動車の運転を継続することができなくなったもの</p> <p>2. 前年度の実績</p> <p>◇国交省告示第1366号に基づく乗務員教育と安全作業教育については、感染症に配慮し映像教育による実施時間の短縮や少人数・分散実施により年間計画通り実施することができた。実技教育については屋外・少人数での実施により、上期＝車間距離・下期＝後退動作の内容で全乗務員を対象に体験教育を実施。結果、年間で追突事故発生が1件に減少。(一昨年度は7件)後突事故についても、4件→2件に半減。実技教育に於ける体験が車両事故の削減に結びつく結果となった。</p> <p>◇自動車事故報告規則第2条9項に該当する事案(運転者の疾病により事業用自動車の運転を継続することができなくなったもの)が1件発生。改めて乗務員に健康管理の重要性を指導するとともに、事業用車両を保有し公共道路を使用して輸送を行う事業者として、輸送の安全・労働環境の安全はもとより、乗務員の心身の安全にも引き続き取り組んでいく。</p>	<p>1. 2023年度 自動車事故報告規則第2条に規定する事故</p> <p>・自動車事故報告書届出件数 0件</p> <p>安全最優先での運行を励行し、重大事故・重大災害の撲滅に努めます</p> <p>2. 人身事故ゼロの継続</p> <p>・一般車両と交通弱者への配慮ある運転の励行。(歩行者、自転車との接触事故防止)</p> <p>・コンプライアンスの徹底。「道路交通法の遵守(一旦停止と信号の遵守)」</p> <p>3. 負傷災害事故の撲滅</p> <p>・4日以上の有休災害の撲滅。</p> <p>・墜落、転倒事故の防止。</p> <p>4. 追突、後突事故ゼロ</p> <p>・威圧感を与えず、常に余裕を持った車間距離の確保。</p> <p>・後退前の確実な目視確認による後突事故の防止。</p>	<p>1. 人身事故ゼロ</p> <p>・ドライブレコーダー映像によるKYTで危険感受性と緊張感を高める視聴体感教育の継続。</p> <p>・一般車両、歩行者へのマナー運転の助言指導。</p> <p>2. 追突、後突事故ゼロ</p> <p>・ドライブレコーダー映像による運転状況の確認及び助言指導。</p> <p>・安全立哨及び巡回パトロール時の走行チェックの実施。</p> <p>3. 負傷災害事故の撲滅</p> <p>・作業中の墜落、転倒、挟まれ等、負傷災害の再現動画視聴教育の強化。(安全作業教育に実施)</p> <p>・ヒヤリハット現場の抽出と是正改善。</p> <p>・作業時の危険予知と安全な作業環境を整える工夫と能力の向上。</p> <p>・健康維持のための生活習慣の改善及び必要な健康知識と体調管理面の指導。</p> <p>4. 実技教育の継続実施</p> <p>・実技教育の内容見直しと継続実施(反応時間と空走距離)</p> <p>・特定教育(新人ドライバー再教育)の充実</p>

目標・唱和	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月次安全目標	現場内 車両接触事故の防止	挟まれによる 負傷災害の防止	運転操作ミスによる 事故防止	熱中症予防に繋げる 健康管理	車両接触事故の防止	架装部操作における 接触事故の防止	追突事故の防止	交差点事故の防止	車両上部 接触事故の防止	積雪、凍結スリップ 事故の防止	後突事故の防止	荷役作業中の 事故防止
安全唱和 交通事故防止	目視確認 他人任せは 事故を呼ぶ ヨシ!	譲り合い 笑顔の合図で ゆとり運転 ヨシ!	ひと呼吸 ゆとりを持って 安全確認 ヨシ!	急いでも たいして変らぬ 到着時間 ヨシ!	バック時の まだ大丈夫は もう危険 ヨシ!	お先にどうぞ 気配りで 事故防止 ヨシ!	広げよう 視野に心と 車間距離 ヨシ!	運転で わかるあなたの 優しさが ヨシ!	助手席も 窓開け聴いて バック ヨシ!	慎重に 路面凍結 してるかも ヨシ!	スマホ見て 信号見えず 事故の元 ヨシ!	降りて見て 周囲確認 車両導線 ヨシ!
安全唱和 作業事故・災害防止	安全が 効率よりも 最優先 ヨシ!	作業手順 守る手順が 身を守る ヨシ!	ヘルメット あご紐と気を 引き締めて ヨシ!	良い睡眠 疲労防止に 効果あり ヨシ!	水分と 塩分補給で 熱中症対策 ヨシ!	慣れたころ 初心忘れず 安全作業 ヨシ!	信頼は まず挨拶と 笑顔から ヨシ!	エコ運転 環境とともに 守るマナー ヨシ!	10分の 休憩が生む 健康管理 ヨシ!	冬の日 負傷防止に ストレッチ ヨシ!	確かめよう 手元足元 安全確保 ヨシ!	プロとして 誇りと自覚と 無災害 ヨシ!

活動項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
乗務員安全会議	◎	◎	◎	◎	-	◎	◎	◎	-	◎	◎	-	
乗務員安全会議12項目教育(※)・安全作業教育(※)	④ ⑤ ①	⑩	⑨	⑪ ②	-	③ ⑫	⑧ ③	⑦	-	① ④	②	-	
安全協議会	◎	◎	◎	◎	-	◎	◎	◎	-	◎	◎	-	
グループ安全合同会議	◎	◎	◎	◎	-	◎	◎	◎	-	◎	◎	◎	
指導教育	1年未	ドラレコ含む運転指導	6・12ヶ月	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		抜打ち	1・9ヶ月	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		ヒアリング	1・12ヶ月	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	事故惹起者	前年度	ドラレコ含む運転指導	6・12ヶ月	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
			抜打ち	3・9ヶ月	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		ヒアリング	6・12ヶ月	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	2年上	ドラレコ含む運転指導	1回/年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		抜打ち	適宜	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		添乗2～5年	1回/年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	定期	添乗6年上(偶数年度)	1回/2年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		抜打ち	適宜	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	安全立哨	◎	◎	◎	◎	-	◎	◎	◎	-	◎	◎	-
	KYT	「ドラレコニミ=KYT」	「ドラレコニミ=KYT」	「ドラレコニミ=KYT」	「ドラレコニミ=KYT」	-	「ドラレコニミ=KYT」	「ドラレコニミ=KYT」	「ドラレコニミ=KYT」	-	「ドラレコニミ=KYT」	「ドラレコニミ=KYT」	-
	実技教育	-	「反応時間と空走距離」	「反応時間と空走距離」	「反応時間と空走距離」	-	「反応時間と空走距離」	「反応時間と空走距離」	「反応時間と空走距離」	-	「反応時間と空走距離」	「反応時間と空走距離」	-
	緊急時対応訓練	-	-	◎和泉	-	-	-	◎六甲、三木	-	-	-	-	-
ビジネスコンダクトガイドライン教育	-	◎	◎	-	-	◎	-	◎	-	-	◎	-	
運行管理内部監査(運搬委託会社)	◎	-	◎	-	◎	-	◎	-	◎	-	◎	-	
リスクアセスメント(収集業務作業)	リスク抽出	リスク抽出	リスクの見積り	リスクの優先度の設定及び低減措置の検討	リスク低減措置の実施	-	-	-	-	-	-	▶ リスク抽出	
安全指導	安全会議巡回	◎	◎	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎	-	
	現場巡回(要望顧客現場)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	選任前・事故後教育(コンプライアンス含む)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	特定教育:新人(入社3年未満)	-	◎	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎	-	
運行管理内部監査	-	(大栄アメント)	(セーフティア일랜드)	(和泉・六甲・三木)	-	(摂津清運)	-	三重中央開発・京都	-	(京都かんきょう)	-	-	
啓発・トピック	-	春の全国交通安全運動 5/11～5/20	-	優良ドライバー表彰	熱中症予防	秋の全国交通安全運動 9/21～9/30	-	-	感染症予防	感染症予防	-	年度末 無事故無災害運動	

※「貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う指導及び監督の指針」(2001年8月20日国土交通省告示第1366号 2017年3月12日改正施行)

※ 安全作業教育(負傷災害再現動画視聴を含む)

- ①トラックを運転する場合の心構え
- ②トラックの安全を確保するために遵守すべき基本的事項
- ③トラックの構造上の特性
- ④貨物の正しい積載方法
- ⑤過積載の危険性
- ⑥危険物を運搬する場合に留意すべき事項 ※(教育対象除外項目)

- ⑦適切な運行の経路及び当該経路における道路及び交通の状況
- ⑧危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法
- ⑨運転者の運転適性に応じた安全運転
- ⑩交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因及びこれらへの対処方法
- ⑪健康管理の重要性
- ⑫安全性の向上を図るための装置を備えるトラックの適切な運転方法

- ①荷台上でのシート掛け作業
- ②荷役作業中の負傷災害防止
- ③車両乗降、及び、荷台昇降時の転落防止
- ④悪天候時の作業について